

ポジションペーパー

## 私の思う、生活を豊かにする研究とは,,,

所属：ソニーCSL 松下伸行

e-mail: matsu@csl.sony.co.jp

我が家は共働きなのですが、仕事が終わって家に帰ってきて、夕飯を作ろうとするときに、炊飯器のなかに12時間以上保温されたカビカビのご飯がのこっていることがよくあります。新しいご飯を炊くためには20分もあればOKですが、その前に、熱いお釜をさましてから水につけてこびりついたご飯を取り除く必要があります。これが結構時間がかかって面倒くさいのです。こうならないように、普通の家庭では忙しい朝に炊飯器の残ったご飯は冷まして冷蔵庫に入れたりします。しかし、それも努力が必要で、結構たいへんです。

我が家ではその問題が一切おきない方法を編み出しました。  
一つの炊飯器に対して、そのお釜を2個用意するのです。

急いでご飯を炊こうとしたときに炊飯器の中に熱々お釜がのこっていたら、とりあえずそのお釜をぬいて、もう一つのお釜でご飯を炊きます。で、熱々のお釜は水を張っておいて、2時間ぐらいたって米がふやけたときにきれいに洗います。

お釜は1万円ぐらいで買えますが、そうすることで熱々のお釜を急いで洗うタスクから一生開放されます。多分、炊飯器のお釜を二つ用意しているのは日本で我が家だけかもしれません。

しかし、お釜を二つ用意することをPC用語で言えば、単なるリソースの多重化です。こうすれば効率があがることはコンピュータの世界では当然です。このように、コンピュータの世界では当然で、理論的に説明されれば明らかに時間が短縮されるような例でも、日常生活に取り入れるのは難しいようです。本当はこういう例こそ生活を豊かにすると思っています。